



2010年 11月号



政府の  
経済対策に  
もの申す!

今月の一枚 野党でも、常にフルスイング!



ミニプロフィール

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。  
大学生時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。零細企業に育ったこともあり、中小企業行政を扱う通商産業省に入省。日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に意向)などに携わる。  
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙において公募により候補者に選ばれるも、惜敗。  
平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。現在、石破茂政務調査会長一さいとう健事務局長のラインで、党の政策立案にあたる。  
東京大学卒、ハーバード大学大学院卒

(趣味) 読書、カラオケ ハンドボール  
(好きな食べ物) ラーメン、焼き肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健  
携帯サイト  
↓  
開設



さいとう健事務所では、活動のお手伝いを  
していただけるボランティアを募集しています。  
ミニ集会の開催、ビラ配布作業、ポスター掲  
示などご協力が可能な方は、下記の連絡先ま  
でご連絡を下さい。お待ちしております。

討議資料



さいとう 健後援会事務所  
(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 千葉県流山市市野谷665-40-103  
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224  
e-mail:info@saito-ken.jp

政府の経済対策に  
もの申す!

現下の経済情勢は、1ドル80円という円高に象徴されますように、かなり危機的な状況にあります。

しかし、経済政策の立案に長年取り組んできましたさいとう健の目から見ますと、現政権の経済対策は、本当に甘い。

今回の月刊では、責任野党の一員として、現政権が対応しなければ

ばならない対策を3点提案します。

1. 「空洞化促進政策」を直ちに  
転換すべし。

現政権の政策は、日本から企業を追い出す、空洞化促進策のオンパレードであります。

- ① 製造業への派遣は原則禁止する、② 最低賃金はいずれ1000円にする、③ CO2は15年で30%削減せよ、④ 法人税は40%で世界最高水準、⑤ 1ドルは80円。

いわゆる「空洞化5点セット」といわれるものですが、「二つの政策にそれなりの合理性があったとしても、これら全てが揃ってしまったら、企業はどんどん海外生産に移って行ってしまいます。そして、国内雇用が失われます。今や、わが国は、1985年、1995年に続く、戦後三度目の、しかも、最大の産業空洞化の危機にあります。一度海外に出て行った事業は、なかなか戻ってはきません。

政府は、経済対策云々を言う前に、これら空洞化促進政策を直

ちに転換すべきであります。取り返しがつかなくなる前に。

## 2. なけなしの将来財源を使い尽くす前に、バラマキを止めるべし。

このたびの政府の経済対策では、その財源として、想定外の増収増や、国債の利払い費が思ったよりかからなかった差額分などが活用されております。しかし、これらは本来、借金を返すために使われるべき財源です。

一方で高額所得者にまで子ども手当をバラマキながら、一方でこれらなけなしの将来財源を使うというのは、論外であります。

今回の補正予算の財源として、まずは、景気浮揚効果の薄いバラマキ予算を執行停止し、その財源で対策財源をまかなうべきであります。われわれの試算では、これで、5000億円は確保できます。

民主党のマニフェストに明記してある政策の凍結は決断としては重いものでありますが、今や、過去の経緯や体面や、そういうものにとらわれている余力は、この国にはありません。



ねじれ国会の今こそ、シンフォニーが大事では!?



過去の経験を生かし、国際舞台でも汗を流していきたいです。

## 3. 地方活性化策を強化すべき。

政府の経済対策の具体的な内容をみますと、地域活性化対策が致命的に弱い。

政府の対策では、地方自治体が自由に使える資金であり、まず地域活性化交付金が3500億円となっており、市町村が全部で1727もあり、都道府県が47もある実情を考えれば、これでは全く不十分であります。これは、せめて1兆5000億円規模で地方に交付すべきであります。

以上が、政府が緊急に打たねばならない手であり、同時に、将来の我が国のメシの種類になりうる新産業・新技術の芽には、23年度本予算の方でしっかりとした対応をしていくべきです。2番でいいなんていう気持ちでこれらの施策を考えてはなりません。

最後に、先日ノーベル化学賞を受賞された鈴木章・北大教授の言葉を紹介します。「研究は一番でないといけない、二位ではどうかなどというのは愚問、このようなことを言う人は科学や技術を全く知らない人だ」

「科学や技術を阻害するような要因を政治家がつくるのは絶対だめで、日本の首を絞めることになる、一番になるうとしてもなかなかないことを政治家の人たちも理解して欲しい。」

夢のあるプロジェクトこそ、日本再生の鍵です。

平成二十二年十一月二日

さいとう 健



いわゆる「財政健全化責任法案」を議員立法の提案者の一人として提出いたしました。

ホームページをクリック